



令和6年度

愛知県グリーンボンド インパクトレポート

第5次愛知県環境基本計画について



第5次愛知県環境基本計画①

SDGs達成に向け、環境を原動力に経済・社会が統合的に向上する「環境首都あいち」を実現

- 愛知県は、1997年に第1次愛知県環境基本計画を策定して以降、2002年から6年ごとに環境基本計画を策定し、様々な環境問題に対して、機動的に取り組を進めてきました。
- 現行の第5次環境基本計画(2021年策定)では、環境面からのアプローチを主眼とし、「経済と社会」の融合を考慮しつつ、「環境と経済」、「環境と社会」の統合的向上を目指しています。

目指すべき3つのあいちの姿

環境の各分野の統合的向上

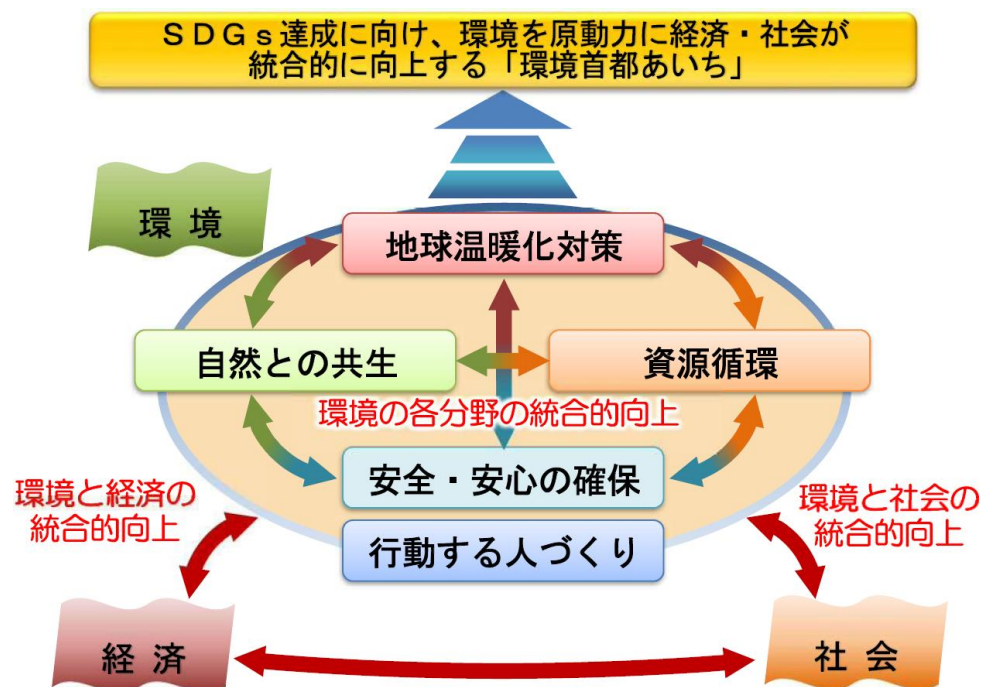
- 環境の各分野が連携しながら、統合的な向上が図られており、全ての県民がいつまでも暮らしていきたいと思える、日本一環境にやさしいあいち

環境と経済の統合的向上

- 気候変動適応ビジネスや資源循環ビジネスといった環境ビジネスやESG投資が拡大するなど、環境と経済成長が好循環しているあいち

環境と社会の統合的向上

- 多様な主体が連携して環境保全活動に取り組み、環境負荷の少ないまちづくりを進め、地域が活性化している魅力あるあいち



第5次愛知県環境基本計画②

5つの取組分野と重点施策

- SDGsの達成を加速すべく、「地球温暖化対策」、「自然との共生」、「資源循環」、「安全・安心の確保」の各取組分野について、新たな課題への対応も含め取り組むとともに、SDGsを理解・認識した「行動する人づくり」やパートナーシップによる連携・協働を推進しています。
- 複数の課題を統合的に解決する施策のうち、特にSDGsの多くのゴールに貢献する9つの施策を重点施策として位置付け、積極的に推進しています。

1 地球温暖化対策

- 再生可能エネルギーの導入拡大
徹底した省エネルギーの促進と環境産業の振興



- 次世代自動車の普及拡大



2 自然との共生

- 「あいち方式2030」推進プラットフォームの構築



3 資源循環

- 地域循環圏づくり
- プラスチックごみゼロ
- 食品ロスの削減



4 安全・安心の確保

- 海域の生物多様性や水産資源の生産性を考慮した水質改善

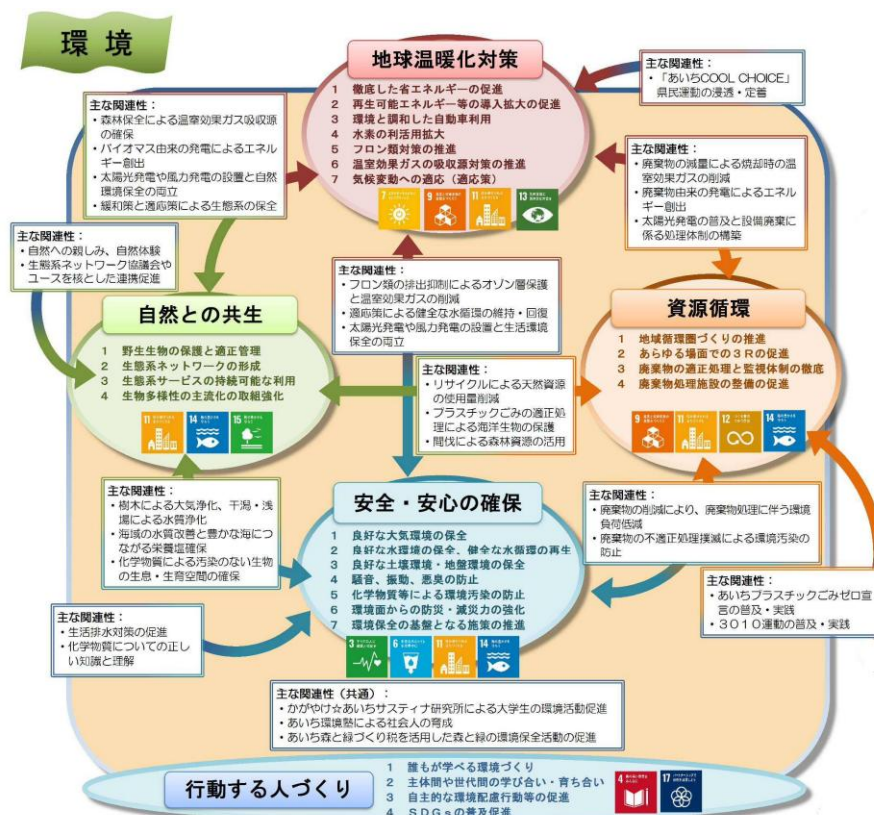


5 行動するひとづくり

- SDGsの普及促進



- 誰もが学べるあいちの環境学習
による人材育成と自主的取組の促進



令和6年度愛知県グリーンボンドの概要



愛知県グリーンボンドの概要

令和4年10月にフレームワークを策定。「第5次愛知県環境基本計画」に基づく対象プロジェクトに資金を充当

「愛知県グリーンボンドフレームワーク」の概要

グリーンボンド発行の目的

- 脱炭素社会の実現を見据え、県債の投資家層の拡大により、安定的な資金調達を実現し、環境改善効果のある事業を着実に推進していくとともに、持続可能な地域づくりへの関心を一層高めていく

調達資金の使途

- 「信号機のLED化(交通安全施設整備)」「大気汚染監視施設整備」「林道整備」「干潟・浅場・藻場造成、魚礁漁場整備、増殖場造成、種苗生産施設整備、河川環境整備」「公用車の電動車化」「県有施設の新築、改修」「河川海岸整備、砂防関係施設整備、農地防災対策、治山施設等整備」

プロジェクトの評価及び選定プロセス

- グリーンボンドの資金使途とするプロジェクトについては、総務局が候補を抽出し、各局との協議を経て、選定。各プロジェクトの適格性の評価にあたっては、潜在するネガティブな環境面への影響に配慮しているものであり、その対応策について確認

調達資金の管理

- 調達資金と資産の紐付方法と追跡管理の方法
地方自治法に基づき、地方公共団体における各会計年度における歳出はその年度の歳入(地方債によって調達された資金もこれに含む)をもってこれに充てられる。
また、個別の充当状況に関しては、各所管課と連携して総務局で把握を行い、発行超過等が起こらないよう管理。
会計年度の終了時には、対象プロジェクトを含む愛知県の全ての歳入と歳出について、執行結果と決算関係書類が作成され、県の監査委員による審査を受ける。その後、監査委員の意見とともに決算関係書類は県議会に提出され、議会の認定に付される。
- 調達資金の追跡方法にかかる内部統制
グリーンボンドの調達資金については、年度終了後、対象プロジェクト名及び充当金額を取りまとめ、総務局長へ報告。
- 未充当資金の管理方法
調達資金が充当されるまで、調達資金は本県の会計管理者が現金にて管理。

レポート

- 資金充当状況レポート
対象プロジェクト及び充当金額を本県ウェブサイト上にて、起債翌年度に開示。調達資金の充当計画に大きな変更が生じた場合や、充当後に充当状況に大きな変化が生じた場合は、速やかに開示。
- インパクト・レポート
対象プロジェクトによる環境改善効果に関する各項目について、グリーンボンドの起債翌年度に開示。

令和6年度愛知県グリーンボンドの発行概要①

令和6年度グリーンボンドは発行総額125億円に対して約1.4倍の需要を獲得

発行概要

公債の名称	愛知県令和6年度第14回公募公債（グリーンボンド・5年）	愛知県令和6年度第18回公募公債（グリーンボンド・11年）
債券の種類	市場公募債（機関投資家向け）	市場公募債（機関投資家向け）
年限	5年	11年
発行額	100億円	25億円
利率	0.809%	1.500%
条件決定日	令和6年12月6日（金）	令和7年2月12日（水）
発行日	令和6年12月20日（金）	令和7年2月21日（金）
最終需要	153.6億円	25億円
参加件数	61件（うち投資表明件数52件）	1件（うち投資表明件数1件）
引受会社	みずほ証券株式会社（事務）／東海東京証券株式会社／ 大和証券株式会社	ゴールドマン・サックス証券株式会社
格付け	AA+（R&I）、A+（S&P）	
適合性評価	フレームワークについて、第三者機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）から、国際資本市場協会（ICMA）によるグリーンボンド原則2021及び環境省グリーンボンドガイドライン2022年版への適合性について、評価を取得	

令和6年度愛知県グリーンボンドの発行概要②

令和6年度のグリーンボンドにおいては、53件の投資家から投資表明を獲得

第14回

- 愛知県信用保証協会
- 愛知県中小企業共済協同組合
- あかし農業協同組合
- 阿久比町
- 東信用組合
- 株式会社エス力
- オーエスジー株式会社
- オリックス銀行株式会社
- 学校法人 尾張学園
- 可児市
- 株式会社ぎふ建築住宅センター
- 岐阜精工株式会社
- 公益財団法人熊本県総合保健センター
- 幸田町
- 社会福祉法人 小牧市社会福祉協議会
- 栄レース株式会社
- 佐野市社会福祉協議会
- 公益財団法人自動車リサイクル促進センター

- 独立行政法人住宅金融支援機構
- 関ヶ原町
- ソニー損害保険株式会社
- 第二地区共同化義務街区事業者組合
- 大洋興業株式会社
- 竹中造園土木株式会社
- 社会福祉法人多治見市社会福祉協議会
- 株式会社筑邦銀行
- 株式会社中京銀行
- 中部交通共済協同組合
- 中部土質試験協同組合(ジオ・ラボ中部)
- テレビ愛知株式会社
- 株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ
- 東郷産業株式会社
- 東郷町
- 株式会社徳島大正銀行
- 豊田市
- 豊田鉄工株式会社
- 社会福祉法人豊橋市社会福祉協議会

- 名古屋競馬株式会社
- 社会福祉法人名古屋市東区社会福祉協議会
- 株式会社南都銀行
- 日進市
- 日本コープ共済生活協同組合連合会
- 日本地震再保険株式会社
- 株式会社バンショー
- 半田商工会議所
- 碧南市
- 株式会社北洋銀行
- 学校法人牧原学園
- 岬町
- 南知多町
- 学校法人 名進研学園
- 社会福祉法人和進奉仕会

第18回

- 第一生命保険株式会社

(五十音順)

令和6年度愛知県グリーンボンドの 充当結果と改善効果



対象プロジェクトの充当状況

令和6年度の愛知県グリーンボンドにより調達した資金は以下の対象プロジェクトに充当

グリーンボンド適格プロジェクト分類名	対象プロジェクト	充当事業	充当額(百万円)	
			第14回	第18回
エネルギー効率	● 信号機のLED化(交通安全施設整備)	● 交通安全施設整備費	504	0
汚染の防止と管理に関する事業	● 大気汚染監視施設整備	● 大気汚染監視施設整備費	15	0
生物自然資源および土地利用にかかる環境維持型管理	● 林道整備	● 林道事業費	440	0
生物多様性保全に関する事業	● 干潟・浅場・藻場造成 ● 魚礁漁場整備	● あさりとさかな漁場総合整備事業費	190	0
	● 増殖場造成	● 貝類増殖場造成事業費	51	0
	● 種苗生産施設整備	● 栽培漁業センター施設整備費	39	0
	● 河川環境整備	● 河川事業費	10	0
	● 公用車の電動車化	● 先進環境対応公用車導入費	12	0
グリーンビルディング	● 県有施設の新築、改修	● STATION Ai整備事業費 ● 新体育館整備推進費	4,845	0
気候変動への適応	● 河川海岸整備	● 河川事業費	960	1,930
	● 砂防関係施設整備	● 砂防地整備事業費	1,134	0
	● 農地防災対策	● 農地防災事業費	400	570
	● 治山施設等整備	● 治山施設費 ● 小規模治山施設費	1,400	0
合計			10,000	2,500

対象プロジェクトの具体的な事例と効果①

信号機のLED化(交通安全施設整備)



- 本県では、事業活動における工程の改善や高効率・省エネルギー設備の導入により省エネルギー化を推進しています。
- 信号機のLED化(交通安全施設整備)事業は、交通事故抑止に資する良好な道路交通環境を構築するため、長寿命化による維持管理・更新を計画的に進め、交通安全施設の省エネルギー化により二酸化炭素の削減を図るものです。

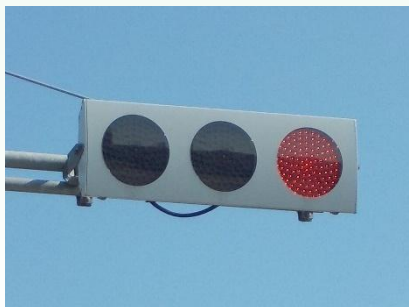
グリーンボンド適格プロジェクト分類名

エネルギー効率

取組実績・環境改善効果等

車灯／歩灯の取り換え数	車灯1,823、歩灯2,581
電力削減量	約5,914,247.4 kwh/年
CO ₂ 排出削減量	2,507.64 t-CO ₂ /年

信号機の設置事例



大気汚染監視施設整備



- 本県では、環境基本法及び愛知県環境基本条例に定める基本理念に則り、公害を防止するために、大気汚染防止法及び県民の生活環境の保全等に関する条例に基づいて規制を実施しています。
- 大気汚染監視施設を整備し、大気環境の状況を把握することにより、特に環境基準非達成の項目・地域については重点的に、基準の達成に向け、取組みを推進しています。

グリーンボンド適格プロジェクト分類名

汚染の防止と管理に関する事業

取組実績・環境改善効果等

更新台数	全測定機器244台のうち20台 (更新機器: NOx・SPM計、SPM計、Ox計、PM2.5計、風向・風速計、気象測器盤、空調機器)
------	---

測定機器の設置事例



対象プロジェクトの具体的な事例と効果②

林道整備



- 本県では、過疎山村地域代行林道事業を含め、県営による林道開設や改良を実施しています。
- 林道の整備により、林業生産性の向上、森林の適正な管理、山村地域の振興とともに、森林の有する多面的機能の維持増進を図っています。

グリーンボンド適格プロジェクト分類名

生物自然資源および土地利用にかかる環境維持型管理

取組実績・環境改善効果等

整備箇所	① 西菌目御園線(北設楽郡東栄町)始め20路線(開設2路線、過疎山村地域代行8路線、改良7路線、舗装3路線) ② 根道線(北設楽郡設楽町)始め55路線※(開設2路線、改良38路線、舗装14路線、危険地対策2路線) ※改良と舗装で重複している1路線含む。
整備延長	① 4,138 m ② 8,984 m

林道の整備事例

施工前



施工後



干潟・浅場・藻場造成、魚礁漁場整備、増殖場造成



- 本県では、三河湾であさり漁場となる干潟・浅場と増殖場、渥美外海でさかな漁場となる魚礁漁場を総合的に整備しています。
- 整備により、あさり漁業及び漁船漁業の振興のため、内湾から外海まで県域全体の水産資源増大と漁場環境の改善を図っています。

グリーンボンド適格プロジェクト分類名

生物多様性保全に関する事業

取組実績・環境改善効果等

◆ 干潟・浅場造成、魚礁漁場整備

整備箇所	あさり漁場(西尾市、田原市)、さかな漁場(田原市)
漁場の造成面積	9.8 ha
魚礁の整備量	2,354 空 ³

◆ 増殖場造成

整備箇所	貝類増殖場(西尾市)
増殖場の造成面積	2.0 ha

増殖場の整備事例

施工前



施工後



対象プロジェクトの具体的な事例と効果③

種苗生産施設整備



- 本県では「愛知県栽培漁業基本計画」を策定し、栽培漁業を計画的に推進しています。
- 愛知県栽培漁業センター（田原市）では、7魚種（クルマエビ、ガザミ（ワタリガニ）、ヨシエビ、トラフグ、アワビ、ナマコ、アユ）の種苗が生産されており、それらを漁業者が放流して資源を増大させる栽培漁業の取組みを行っています。

グリーンボンド適格プロジェクト分類名

生物多様性保全に関する事業

取組実績・環境改善効果等

整備施設	愛知県栽培漁業センター
整備内容	無脊椎動物・藻類生産棟（仮称）の新設

※効果の把握は、新生産棟で生産された種苗が放流される令和8年度に予定

栽培漁業センターの無脊椎動物・藻類生産棟（仮称）の整備イメージ



河川環境整備



- 本県では、自然環境とともに人と河川の良い関係を取り戻すため、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境や多様な河川風景を保全・創出するために河川を管理する、「多自然川づくり」を推進しています。
- 河川環境整備事業では、「多自然川づくり」の一環として、魚類の遡上を妨げる落差に対して魚道を整備する等の取組みを実施しています。

グリーンボンド適格プロジェクト分類名

生物多様性保全に関する事業

取組実績・環境改善効果等

施工場所	庄内川水系矢田川
施工内容	魚道設置 1基

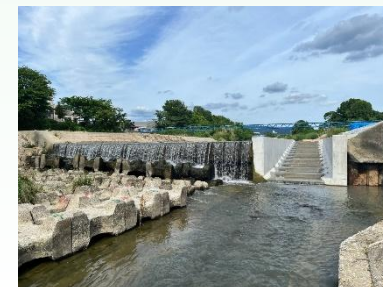
※遡上可能魚種を2種増加させることを効果の目標としているが、魚類調査は5年に1度であり、測定は令和8年度に予定

庄内川水系矢田川の魚道設置

施工前



施工後



対象プロジェクトの具体的な事例と効果④

公用車の電動化



- 本県は、自動車の保有台数が全国第1位であり、陸上旅客輸送における自動車への依存率は東京都や大阪府よりも高水準にあります。
- 自動車との関係が深い本県において、EV・PHV・FCVなどといった電動車の普及を促進することで、二酸化炭素の削減、大気汚染の改善を進めるとともに、愛知県の基幹産業である自動車産業の振興・発展にも貢献します。

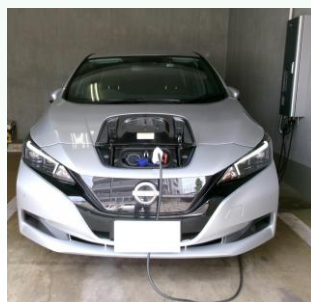
グリーンボンド適格プロジェクト分類名

クリーン輸送

取組実績・環境改善効果等

導入台数	40台
CO2削減量	約13.7 t-CO2/年 (13,652 kg-CO2/年)

電動車の導入事例



県有施設の新築、改修



- 本県では、省エネ性能の高い新築の建築物の普及を図るとともに、既存建築物の省エネ性能の向上を促進しています。
- 令和6年度の事業は、STATION Ai及びIGアリーナ(愛知国際アリーナ)の新築であり、環境性能の高い施設とすることにより、エネルギー消費量の削減、温室効果ガスの排出量削減を見込んでいます。

グリーンボンド適格プロジェクト分類名

グリーンビルディング

取組実績・環境改善効果等

整備施設	STATION Ai、IGアリーナ(愛知国際アリーナ)
認証等の取得状況	CASBEE 名古屋 Sランク取得

STATION Ai、IGアリーナ(愛知国際アリーナ)の新築



対象プロジェクトの具体的な事例と効果⑤

河川海岸整備



- 本県が管理している河川は、59水系、284河川、総延長1,824kmあり、これら県管理河川の洪水想定氾濫区域は県土の約2割を占め、その区域内には220万人以上の人々が住むとともに、52兆円を超える資産を有しています。
- 河川海岸整備事業は、大雨時における県民生活の安全・安心を確保するため、河道掘削(浚渫)や護岸改修等、流下能力の不足している河川の整備を進めるものです。

グリーンボンド適格プロジェクト分類名

気候変動への適応

取組実績・環境改善効果等

施工場所	柳生川
施工内容	地下河川の整備 L=約920 m
※被害軽減効果は施設の完成まで発現しないため、工事が完了した年度に開示	
施工場所	県管理河川 日光川始め37河川
施工内容	95,040 m ³ を浚渫

河川浚渫の事例

施工前



施工後



砂防関係施設整備



- 本県は、山地丘陵部が県土の6割以上を占め、地質的にも複雑で脆弱な地域が多く、土砂災害が発生しやすい特質があります。
- 砂防関係施設整備は、土砂災害から県民の生命等を守るため、ハード対策として土石流対策や、がけ崩れ対策を行うものです。

グリーンボンド適格プロジェクト分類名

気候変動への適応

取組実績・環境改善効果等

施工場所	① 井戸川沢始め37河川
	② 豊浜区域
	③ 貝ヶ坪区域始め26区域
	④ 猿ヶ谷川始め25河川
	⑤ 石田区域始め37区域
被害軽減効果 (保全人家)	① 421 戸 ② 11 戸 ③ 430 戸 ④ 207 戸 ⑤ 470 戸

急傾斜地崩壊対策の事例

施工前



施工後



対象プロジェクトの具体的な事例と効果⑥

農地防災対策



- 本県では、農地及び農業用施設等の自然災害を未然に防止することを目的として、農地防災対策事業を実施しています。
- 令和6年度は、排水機場等の農業水利施設の改修整備等を行っています。

グリーンボンド適格プロジェクト分類名

気候変動への適応

取組実績・環境改善効果等

整備箇所	① 領内川左岸2期地区始め43地区 ② 堀割地区(西尾市)始め10地区
被害軽減面積	① 7,583 ha ② 2,261 ha

※実施地区の完了時における被害軽減面積

農業水利施設の整備事例

施工前



施工後



治山施設等整備



- 本県では、荒廃山地又は荒廃のおそれのある山地に対して、治山事業を実施しています。
- 治山施設等整備では、山地で発生する災害から県民の生命・財産を守るため、溪間工や山腹工を行っています。

グリーンボンド適格プロジェクト分類名

気候変動への適応

取組実績・環境改善効果等

整備箇所	① 豊橋市石巻本町字水上始め34箇所 ② 犬山市字八曾始め102箇所
整備面積	① 92.26 ha ② 40.74 ha
被害軽減面積	① 180.39 ha ② 73.49 ha

治山施設の整備事例

施工前



施工後



本資料に関するお問い合わせ先

愛知県 総務局 財務部 資金企画課

電話

052 - 954 - 6045 （ダイヤルイン）

E-mail

shikin-kikaku@pref.aichi.lg.jp
